

# 祭響～saikyou～2013

## ゲスト出演



**鼓童 藤本吉利**

1950年12月30日生まれ。1972年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。これまで数々の舞台に立ち「大太鼓」や「屋台囃子」といった舞台のクライマックスを飾った鼓童の最年長。近年はゲスト出演や研修生の指導、ワークショップ講師など、幅広い活動を行っている。「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願う太鼓大好き人間。

**鼓童 藤本容子**

1952年7月23日生まれ。1976年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設メンバー。3年間舞台を務めた後、機関誌編集、研修生指導に携わる。1989年より舞台活動を再開。鼓童公演ほか、小島千絵子、金城光枝（琉球舞踊）との「花結」、藤本吉利との「二人行脚」などを展開。1998年より、心の根・声の根を探るワークショップ「ヴォイス・サークル」を主宰。



**三宅島芸能同志会**

三宅島出身の父・津村明男、長男・和宏、次男・秀紀、三男・春快で構成。世界的に活躍する太鼓芸能集団「鼓童」が世界各地へ広めてきた演目「三宅」のオリジナル版が同志会が演奏する「三宅島神着神輿太鼓」であり「三宅」の原点となる太鼓のスタイルを鼓童に伝播したのが同志会代表の津村明男である。彼らの演奏は、三宅島の祭りで御神輿の伴奏として打つ太鼓を、舞台演奏向けに突きつめたものであり「聴き手の身体に音を入れる」打ち込みを追求し、更なる進化を続けている。

## 出演

**和知太鼓保存会**

約千年前、源頼光が帝の命をうけ当時の反逆の徒を討つため、部下を従え、京の都を出発。道中、激しい雷雨に見舞われ、雨やどりの京丹波町（旧和知町）字広野の藤森神社であった。再び出陣の時村人たちが頼光の武運長久と兵士の士気を鼓舞する為、打ち鳴らした太鼓が和知太鼓の発祥といわれている。今日では篠笛、締太鼓、鉦などを取り入れ、基本技法の中に打ち手の乱れ打ちを生かした勇壮なものとなっている。



**和太鼓 京**

高校時代、和太鼓部で共に汗を流したメンバーで結成されており、昨年7月には結成5周年を迎えました。和太鼓の魅力に惹かれ演奏することが大好きなメンバーです。結成以来「清く正しく美しく、そして楽しく」を胸に私たちは一つ一つの舞台を全力で演奏してきました！和太鼓と向き合い、自分と向き合い、京として活動していく上でその想いは今後も変わりません。一つ一つ目標に向かい精進していきます！私たちの演奏を聴いて何か感じていただければと思います。

私たちが祭響を企画したのは、郷土に伝わる和太鼓の伝統文化をもっと身近なものとして、多くの方々に触れてもらいたいと思うと同時に、和太鼓の持つ力強さ暖かさも感じていただきたいと思っています。その為に鼓童・三宅島芸能同志会・和知太鼓保存会の皆さんの力をお借りして、皆様に和太鼓の魅力を色々な角度、視点からコンサートを楽しんでいただきたいと思います。

和太鼓 京 代表 土師翔太

祭響～2013～ お問い合わせ

<http://saikyou2013.wix.com/saikyou>

和太鼓 京 代表 土師（はぜ）

Tel: 090-5678-9241（平日19時～21時）

電話が繋がりにくい場合もあります、ご了承ください。

アクセス：〒587-0002 大阪府堺市美原区黒山167-1

